

2024年度 大分ケーブルテレコム株式会社 放送番組審議会 議事録

開催日時：2025 年 1 月 21 日 (水) 13:30～15:00

場 所：大分ケーブルテレコム株式会社 1階会議室

出席者：委員：囑託委員6名中5名出席 ※敬称略、順不同

《委員》

渡邊 教和 (大分トヨタ自動車株式会社 代表取締役社長 (CEO))
伊藤 研 (NBU日本文理大学 工学部 情報メディア学科 元教授)
高橋 淳子 (大分市教育委員会人権・同和教育課 参事補)
大戸 朋子 (公益社団法人 大分県看護協会 会長)
三島 康典 (社会医療法人 三愛会 理事長)
大野久美子 (大分市企画部広聴広報課 参事補)

《放送番組審議会事務局：5名出席》

荒木 節夫 (代表取締役社長)
小野まゆみ (メディアコンテンツ本部 本部長)
高橋 康史 (メディアコンテンツ本部 副本部長)
渡邊 寛章 (メディアコンテンツ本部 副本部長)
堤 佳菜子 (メディアコンテンツ本部 メディア営業グループ)

目次

- 1、開会挨拶・J:COM 大分ケーブルテレコム概況報告
- 2、メディアコンテンツ本部概況報告
- 3、審議議題説明 「防災関連放送」
- 4、審議



1、開会挨拶・J:COM 大分ケーブルテレコム概況報告

(大分ケーブルテレコム株式会社 荒木代表取締役社長)

「年明けのお忙しい中ありがとうございます。手短かに昨年の振り返りを説明させていただきます。」と挨拶し、以下の内容の報告を行った。

(1) 会社概要

- ・JCOM株式会社／大分ケーブルテレコム株式会社について概要を説明。

(2) 自主制作番組紹介

- ・ひるドキ!! おおいた ・友チャリ・ガチトリニータ ・大分の宝 磨崖仏
- ・WALK in OITA ・全国高校野球選手権 ・府内戦紙
- ・PickUp ケーブルテレビ(県内ケーブルテレビ 共同番組制作)

(3) 地域連携の取り組み

- [4月] 工藤友美アナ 「交通安全アンバサダー」を受託
- [5月] ピンクリボン大分 寄付金贈呈式
- [9月] おおいた「夢」花火2024 実行委員への参画
- [11月] 臼杵市 防災協定締結

(4) 地域スポーツ応援

- ・大分トリニータ：サッカー教室 ・サイクルロゲイニング
- ・OITAサイクルフェス ・高校バスケット予選 生中継

(5) 防犯への取り組み

- ・迷惑電話自動ブロック ・防犯カメラサービス

2、メディアコンテンツ本部概況報告 (小野本部長)

(1) 2024年度 自主制作番組 制作方針

【価値あるコンテンツ制作】【地域メディアとして災害・防災情報発信の強化】

『価値をつなぐ』MC本部は地域の魅力や課題などの、地域や暮らしの成長の原石を「価値あるコンテンツ」に変え、私たちが持つ「媒体」で、あらゆるステークホルダーの方々に伝えることで、新しいつながり、新しい価値を生み出していきたい、地域にとってはなくてはならないケーブルテレビを目指す。

(2) J:COMチャンネル大分 新番組・特別番組紹介

- ・大分市広報番組 OITA CITY the VIEW ・おおいた夢花火
- ・梅崎司選手引退特番「感謝～幸せなサッカー人生～」
- ・足立信也大分市長 新春インタビュー

このようにエリアの情報をローカルメディアが発信するという役割が街づくりにおいても大切だと言われるようになってきている。そして市民に安心安全を届けることも地域メディアの使命である。この後現状の防災情報について報告させていただく。忌憚のないご意見をいただき、より良い番組制作に努めていきたい。

3、審議議題説明「防災関連放送」（渡邊副本部長）（VTR：3分程度）

- (1) 情報発信による防災・減災（平常時）の取り組み
 - ・啓発番組の放送　・自治体との防災協定
- (2) 災害時における情報発信
 - ・11チャンネル…国土交通省が一級河川に設置している河川カメラ(8か所)の映像を放送。あわせてテロップやL字画面で災害関連情報を掲出し、避難情報や交通情報などを視聴者にお届けしている。
 - ・12チャンネル…大分市河川みなと振興課と連携し、大分市内で水害発生の恐れがある地点(比較的小規模な河川やため池など)35か所に設置された河川カメラの映像を放送。
- (3) 審議番組について

11チャンネルでの災害情報発信の放送システムの一部を11月に更新。今後さらに有益な情報を迅速に視聴者に提供できるよう、同災害関連放送についてご意見を賜りたい。

事前にお配りしたVTRのダイジェスト版を放映。

4、審議

高橋委員の進行で審議が以下の通り行われた。

委員：日本は災害・震災が多い国である。大分もいつ何が起きるかわからない。こちらの情報はとても良いと思うが、一般の県民に対してこれだけの情報がこのチャンネルにあるというPRが足りないのが惜しい。認知を増やす必要がある。府内戦紙、高校野球の視聴認識は広まっている。同じように災害の情報も広まってほしい。

委員：私自身はこちらのチャンネルをよく見て、大変詳しい情報が流れているのでありがたいと思っている。先の委員の発言の通り、認知度をどうやって上げていくかが課題。また、外国人が見たときに理解ができない。避難のタイミングなど、安全を図る意味でもQRコードなどを載せ、外国人向けに情報を発信すればなおよいのではないかと考える。

委員：線状降水帯の動きで時間によって雨量が変化し、河川の水位が短時間で上がるため、水位の情報はとても大事。大雨時、早めの避難誘導などの情報を有益に使ってほしい。危機感を地域住民が持ち、次の行動に移すための視聴が大切である。災害時は報道関係者も「まずは自分の命を優先」するべき。カメラを見ながら現状をリアルに伝えられ、社員のテレワーク環境を整えているのはとても良いことである。ただ、リニューアルした際の文字の小ささが気になった。高齢者も視聴するため大きい方がいいのではないかな。

事務局：文字情報は一周10分程で構成している。リニューアル時に文字の流れる速度が前のシステムより遅くなった。情報量を早くある程度の時間で流していくことを考え、文字のサイズを少し変更している。

委員：以前から大雨時に視聴していたが、リニューアル前は画面が小さく、場所もどこかわかりづらかった。リニューアル後は場所の表示が大きくて見やすくなっていて良い。チャンネルを変えるだけで河川の水位が確認でき、今後は線状降水帯の情報も地図上で見られるのはとても便利だと思う。
台風の時に台風の進路状況、予報円なども併せて情報として表示されるとなおありがたい。さらに今後、地震のような大災害の時にも情報が流れると良いと思う。

委員：BGMは意図があり選曲の配慮があるのか。安心できるもの、心安らぐものを選択しているのか気になる。

事務局：リニューアル時BGMの選定も行い、以前のものが明るすぎたようにも感じたため、トーンを下げた心が落ち着くようなゆったりとした音楽をセレクトした。

委員：平常時に災害に備える番組を放送しているようなので、災害時、交通情報などのテロップの情報に一部をプラスして「災害時お役立ち情報」や「高齢者が避難する際の注意点」なども併せてのお伝えするのはいかがでしょうか。アナウンサーが情報の読み上げ、「落ち着いて行動してください」等呼びかけがあるとさらに良いとも思う。携帯電話でも情報は拾えるが、災害時は家族や知人との連絡手段としたいので、情報収集のツールがテレビであるのはとても役立つ。

事務局：災害時の情報について、我々が民放と一番違う点が「報道ではないこと」。市や県などの行政が届けたい情報を弊社のメディアを使用して流している。
大分市であればハザードマップがあるため、その情報を織り交ぜながら放送することは可能である。

委員：11chと12chの文字情報は別のものが流れているのか？

事務局：別のものを流すことが可能。現在は主に11chに新たな情報を足していくつくりをしている。

委員：災害情報で、オンラインカメラの活用には賛成。それに加えて、大雨・土砂崩れの2つの災害について考えてみる。大雨、土砂崩れの恐れがある場合は、傾斜地の危険な状況を映像で伝えることや、地域のハザードマップを参考に、安全な避難場所を周知した方が良い。予想される雨の状況を見て、安全に動けるような呼びかけが必要。また、災害後の現地取材では、被害の実状を知らせる時には配慮が大切である。被災者にとっては精神的に厳しい状況のため、被害映像の放送は避けた方が良いと考える。

委員：J:COMが県内にカメラ設置しているのは河川のみなのか？

事務局：カメラは大分市等自治体が設置している。例えば台風10号で一番被害があったのは国東市。しかしカメラの設置はない。行政の取り組みによって異なる部分がある。現在進行中の案として水位だけを測るシステムを大分市と進めている。カメラは高額だが、こちらは安価のため、より多くの河川に設置ができるのではないかとトライアルをしている。こちらを大分市外の自治体にも提案していきたい。

委員：災害時水位が上がっている画面を見ると危機感が上がり良いと思うが、平常時との違いがわかるように平常時分と横並びで見られるとさらに危機感が上がるのでは。

事務局：河川カメラの映像にも映っているが、一級河川の中では氾濫危険水位の定めがある。赤や黄色のラインを見ながら判断に役立ててもらえれば。

委員：橋に書かれた水位の線を日ごろから見ておくなど、災害について関心を持っておく必要がある。災害時の情報に頼ることも大事だが、平常時から自分たちが意識をもって行動するということが重要で、意識啓発のための広報も大切。

事務局：L字の部分が新しくリニューアルされましたが、平時・有事の際にどのような情報が必要とされるのか優先順位をしっかりと考えながら皆様に伝えていきたいと考えます。貴重なご意見ありがとうございました。

以上